令和8年度

土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(8-4)

仕様書

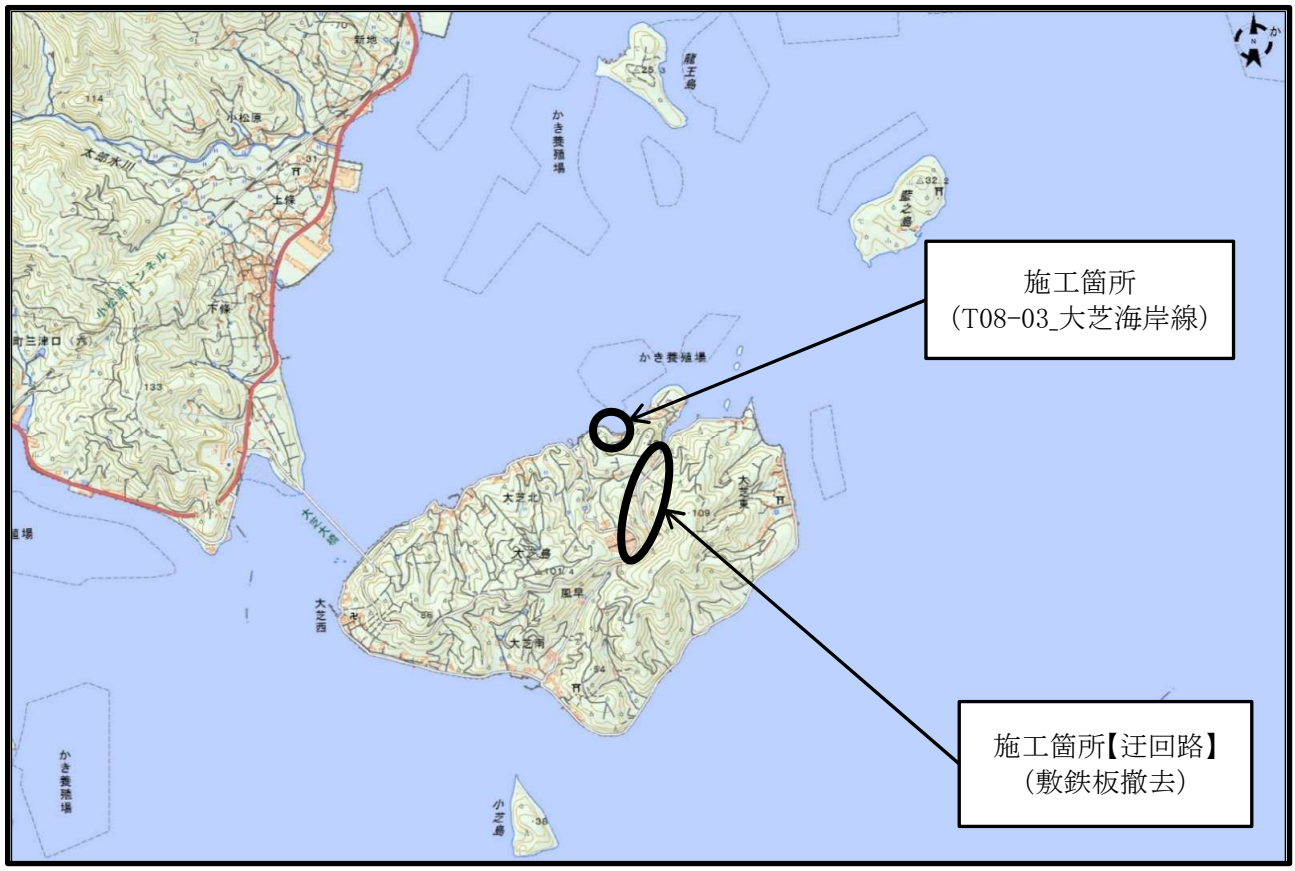
施 工 場 所　東広島市安芸津町風早

東広島市

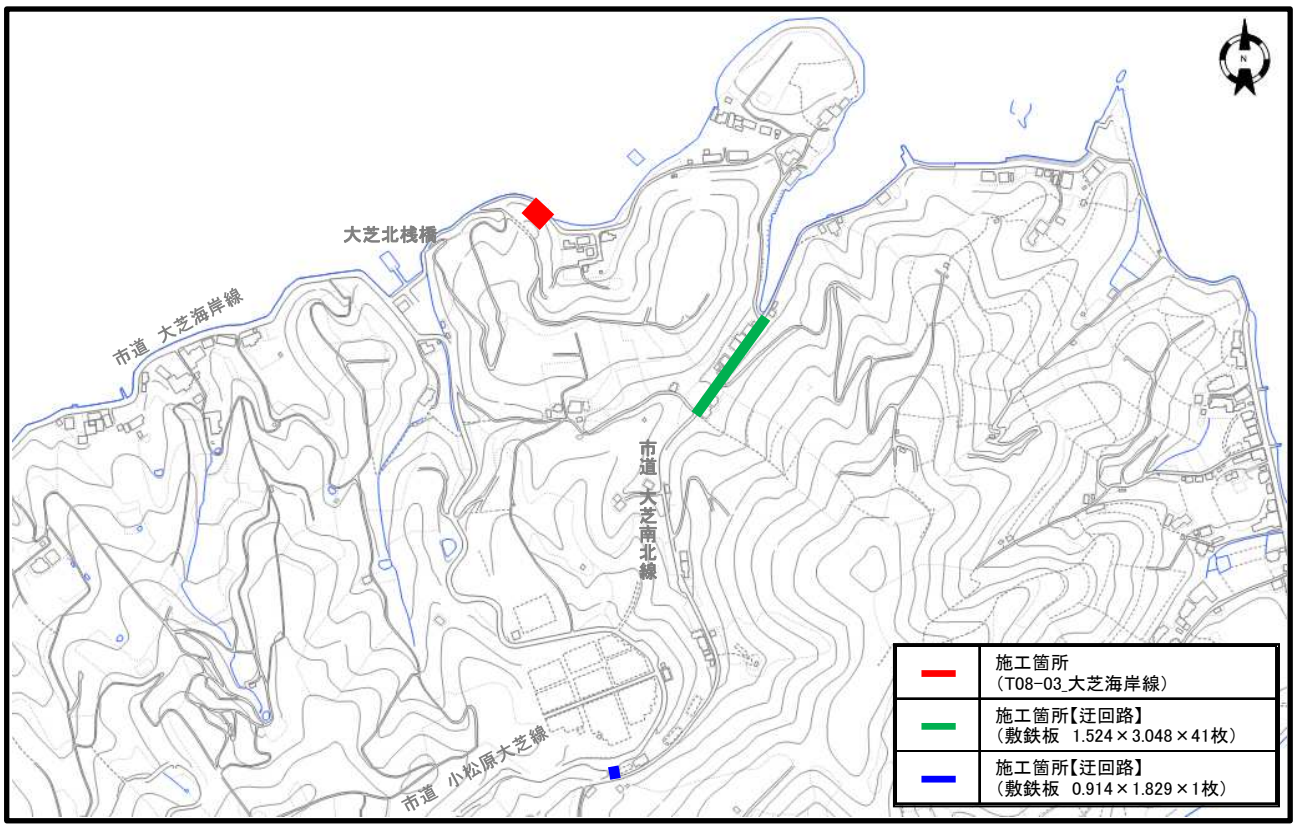
令和8年度　土木施設災害復旧事業
安芸津地区災害復旧工事(8-4)

位　置　図

広 域 図



詳 細 図



特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-27第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。

(11)「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　現場代理人の兼務

１　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

２　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

３　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

４　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4.　現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和８年８月）広島版」第1編1-1-1-24第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7.　工事中情報共有システム（受注者希望型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
（２）工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
　　広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
　　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html
（４）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
（５）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要

領」に基づくこと。
（6）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
1）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規程（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規程（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
3）「4.検査」は適用しない。
4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

9. 法定外の労災保険の付保
1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
2 受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

10. 週休２日適用工事等 週休２日
本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。
なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

11. 建設副産物の取り扱いについて
本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。
1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
2 計画の掲示及び公表
受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
3 実施書の提出
受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速や

かに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

４　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

５　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

６　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

７　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

８　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

９　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

12.　猛暑日等を考慮した工期延長について

１　本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を22日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)：　0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去５年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1)　１日の降雨・降雪量が10㎜/日以上の日：　31日/年

(2)　８時から１７時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数：　5日/年

２　・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP＞公共工事等の情報_様式集＞建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第９章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	アンカー、ラス網	
セメント及び混和材		
その他	種子・肥料	

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	アンカー、ラス網	
セメント及び混和材		
その他	種子・肥料	

第3章　施工条件

1.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2.　仮設備

(1) 仮設構造物の他工事との供用・引継ぎ

内容　迂回路の敷鉄板（1.5m×3.0m＝41枚、0.9m×1.8m＝1枚）

期間　全工期

条件　本工事箇所（大芝海岸線）を通行止規制しているため、迂回路に敷鉄板を設置して車両通行を確保している。本工事が完了して規制解除後の敷鉄板撤去を見込んでいる。

本工事範囲は、契約翌月から撤去までの敷鉄板賃料及び撤去費、運搬費とする。

敷鉄板の賃貸先は日本マーツ㈱（東広島市黒瀬町乃美尾557-5）を見込んでいる。

なお、返却時に整備費用が必要となる場合には協議の上で設計変更の対象とする。

3.　建設副産物

(1) 建設発生土（建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出）

当該工事により発生する建設発生土は、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地に搬出するものとする。

また、積算上の搬出先として、建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地のうち、運搬費と受入費の合計が最も経済的になる次の施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

【礫質土】

（名称）　株式会社中岡建設リサイクルプラント

（所在地）　東広島市安芸津町木谷1218-7

（運搬距離）　11.8ｋｍ

【軟岩】

（名称）　有限会社エス・エス大南山残土処理場

（所在地）　竹原市下野町字大南山1372-1

（運搬距離）　16.4ｋｍ

(2) 建設発生木材(搬出)

当該工事により発生する建設発生木材は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は　（伐採木）11.1ｋｍ、（根株）18.9ｋｍ　を見込んでいる。

第4章　その他

1.　工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。

⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2.　工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和８年８月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかと、紙媒体のダイジェスト版（着手前及び完成、主たる工種の施工状況）とする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3.　疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4.　概算数量方式（伐採）

(1) 本工事の伐採は、概算（推測）数量により算出して積算を行っている。

(2) 契約図面に基づき現地の照査を監督職員の立ち会いのもと行い、図面の作成及び数量を算出し、発注者に提出すること。

(3) 提出した図面について発注者の承諾を受けた後、この図面に基づいて施工を行うこと。

(4) 発注者は、承諾した図面及び数量を基に、遅滞なく変更契約を行うものとする。

5.　すりつけ工

すりつけ工は現地との整合を確認し、施工方法及び数量を事前に監督職員と協議すること。

特記仕様書（中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について）

１　本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」という）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」という）について、設計変更により計上できる工事である。

２　調達検討資材

ナフサを由来とする主要な建設資材の一覧

資材カテゴリ	主成分・性質
ジオテキスタイル	ＰＰ、ＰＥＴ
防草シート	ＰＰ、ＰＥＴ
排水材・フィルター	ＰＰ、ＰＥＴ
パイプ・配線管	塩ビ、ＰＥ、ＰＰ
ケーブル・配線管	塩ビ、ＰＥ
接着剤	ポリウレタン、エポキシ樹脂
塗料・シンナー	トルエン・キシレン等
止水材・シーリング材	ポリウレタン、アクリル
防水シート（トンネル）	塩ビ、合成ゴム
コンクリート混和材	ポリカルボン酸エーテル
仮設資材（ブルーシート、土のう）	ＰＥ、ＰＰ、ＰＶＣ
断熱材	ポリウレタン、ポリスチレン

※代表的なナフサ由来の資材の一例であり、この一覧にない場合でも協議することができる。
ただし、ナフサ由来の資材であることを確認すること。

３　内容

（１）　受注者は、調達検討資材について、別途調達経費が必要となる場合には、事前に「（様式１）調達検討資材に関する協議書」を提出し、監督職員と協議するものとする。ただし、調達検討資材を直ちに購入契約する必要がある等、迅速な対応が求められる場合には、口頭、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、次のとおり想定している。

①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
（例：塩化ビニル管を鉄管やコンクリート管に変更して施工する場合）

②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
（例：通常より遠方から調達する必要があり、運搬費が追加で必要な場合）

③　調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
（例：通常より調達ロットを小さくせざるを得なくなり、単価が高くなる場合）

（２）　受注者は、設計変更に際し、「（様式２）調達検討資材に関する実施報告書」及び実際の取引伝票、請求書等（調達時期、購入数量、購入単価が記載された資料）を監督職員に提出すること。

（３）　妥当性が確認された別途調達経費については、設計変更の対象とする。ただし、受注者の責めに帰すべき事由により生じた増加費用については、設計変更の対象としない。

（４）　受注者は、代替資材を調達する場合には、当該代替資材が設計図書で求める機能や品質等を満足していることが確認できる資料（カタログ等）を作成し、監督職員に提出しなければならない。

※ 様式については、契約課ホームページに掲載

4　積算方法

（1）　設計変更は、精算変更時（指定部分がある場合には、その指定部分の精算変更時）に行うことを基本とする。

（2）　設計変更を行う対象数量の考え方は、次のとおりとする。

既済部分について出来高部分払いを行っている場合は、当該既済部分払いの対象となった出来高部分に係る数量を除いた数量を設計数量とする。

証明された数量と対象数量の考え方
証明数量＜設計図書の数量 → 設計変更不可。 設計図書の数量≦証明数量≦設計数量 → 設計変更可。対象数量は証明数量 設計数量＜証明数量 → 設計変更可。対象数量は設計数量 設計図書の数量：設計図書（数量総括表や図面等）に記載されている数量 設計数量：設計図書の数量にロスを加えた数量（積算上の数量） 証明数量：受注者から証明された数量

※精算変更見込み数量を考慮すること。

換算値などを用いて明示した調達数量については、受発注者間で合意した換算値等や実際の使用量などを基に、受発注者間で協議して最終的な設計数量を決定すること。

（3）　設計変更に用いる単価は、実際の取引伝票、請求書等で確認出来た実際の購入価格とする。

（4）　別途調達経費は、直接工事費に計上するものとする。

材料費が個別に設定されている場合は、実際の購入価格に入れ替えて設計変更を行うこと。土木工事標準単価など材料費が分離できない場合は、調達検討資材の当初積算時点での実勢価格（物価資料等）と実際の購入価格の差分を計上して設計変更を行うこと。なお、当初積算時点の実勢価格（物価資料等）が掲載されていない場合は、受注者に当初積算時点の取引価格を確認の上、差分を算出すること。

（5）　本運用に基づく設計変更内容は、建設工事請負契約約款第 25 条（スライド条項）の対象外とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費	T08-03 大芝海岸線（大芝北漁港東）				
道路改良		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	礫質土 機械施工	m3		30	レベル4
掘削	軟岩 機械施工	m3		2	レベル4
掘削	礫質土 人力施工	m3		110	レベル4
掘削	軟岩 人力施工	m3		50	レベル4
積込(ルーズ)	礫質土,軟岩	m3		160	レベル4
法面整形工		式		1	レベル3
法面整形(切土部)	礫質土，軟岩 機械施工，人力施工	式		1	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	礫質土	m3		140	レベル4
土砂等運搬	軟岩	m3		50	レベル4
残土等処分		m3		190	レベル4
法面工		式		1	レベル2
法枠工		式		1	レベル3
簡易吹付法枠工	W350,H200-1500×1500	m2		264	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
枠内吹付工（植生基材吹付）	厚5cm	m2		150	レベル4
雑工（植生基材吹付）	厚5cm	m2		10	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
迂回路		式		1	レベル3
敷鉄板撤去		m2		192	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
運搬費					
運搬費		式		1	レベル2
運搬費		式		1	レベル3
仮設材運搬費		式		1	レベル4
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
木根等撤去費		式		1	レベル4
木根等処分費		m3		0.9	レベル4
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

平 面 図 S=1:250

基準点成果表(任意座標)

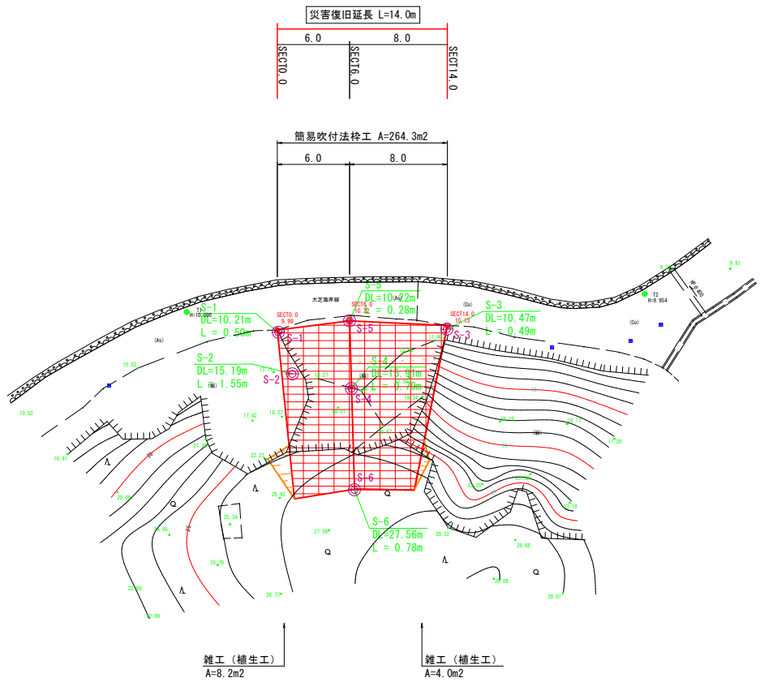
点 名	X 座 標	Y 座 標	標 高
T1	1000.000	1000.000	10.000
T2	972.330	1025.143	9.954
T3	972.184	1065.266	9.889

基準点成果表(公共座標)

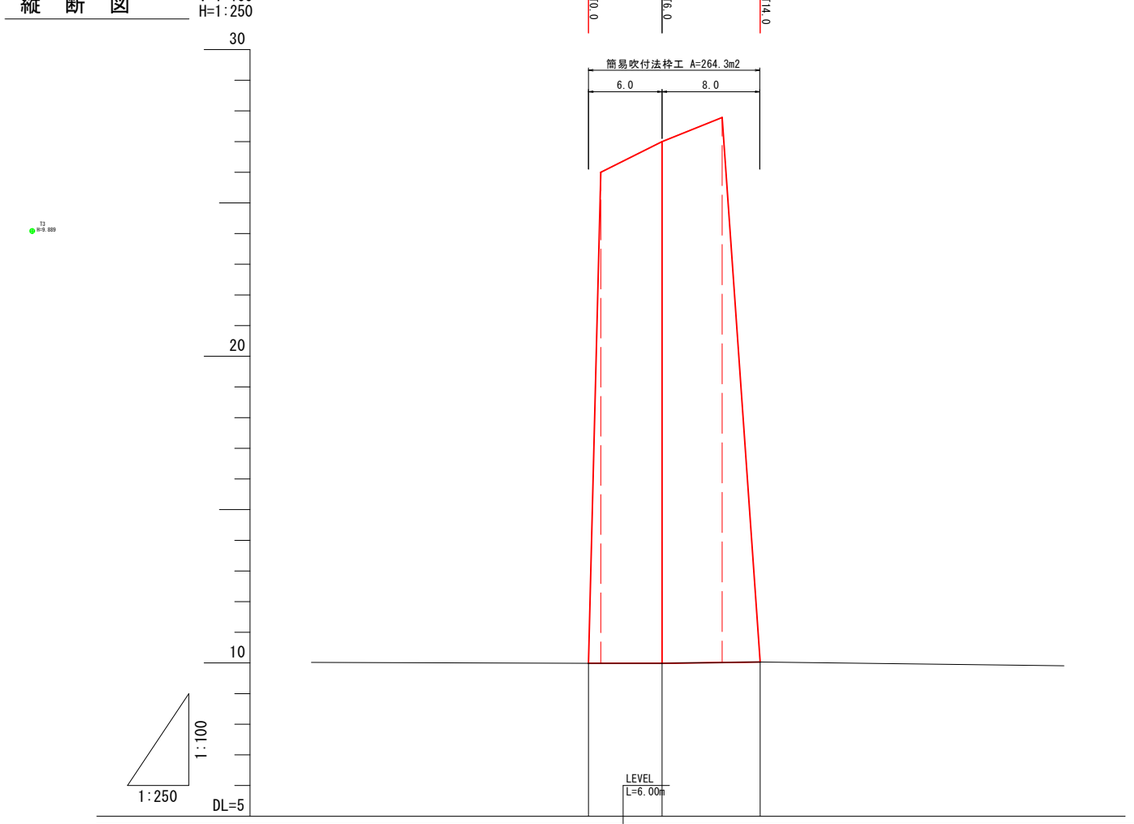
点 名	X 座 標	Y 座 標
T2	-190582.628	58565.570
T3	-190582.642	58605.677

測点成果表

点 名	X 座 標	Y 座 標
SECT0.0	993.400	1003.626
SECT6.0	989.369	1007.997
SECT14.0	983.015	1012.819



縦 断 図 V=1:100 H=1:250



勾 配 図			
計 画 高	9.99	9.99	10.03
地 盤 高	9.99	9.99	10.03
追 加 距 離	0.000	6.000	14.000
区 間 距 離	0.000	6.000	8.000
測 点	SECT0.0	SECT6.0	SECT14.0

工事番号 T08-03

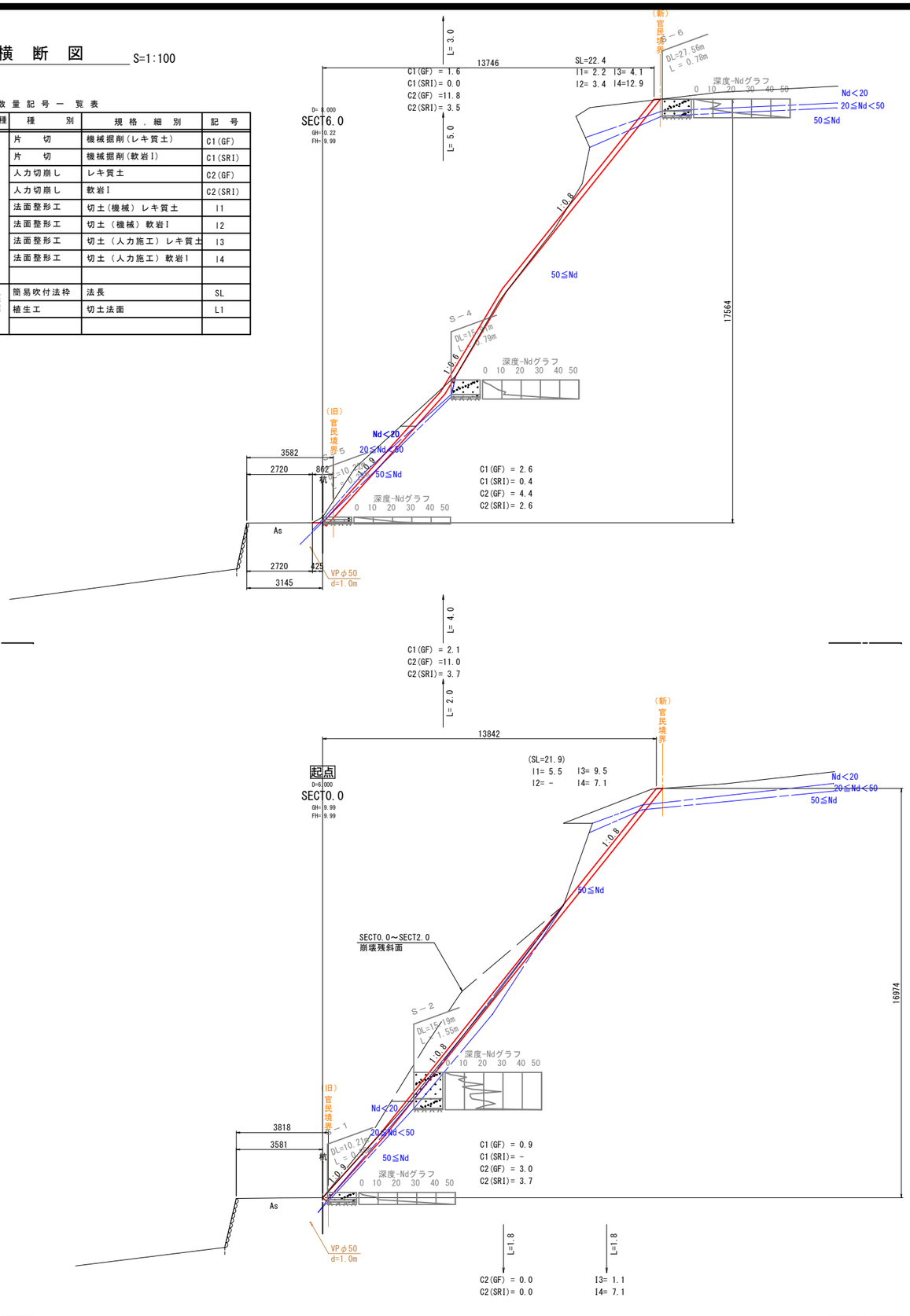
工事名	令和8年度　土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事（8-4）		
図面名	大芝海岸線（大芝北漁港東）　計画図		
作成年月日			
縮尺	図　示	図面番号	1 / 3
会社名			
事業者名	東　広　島　市		

横　断　図

S=1:100

数 量 記 号 一 覧 表

工種	種　　別	規 格 ・ 細　別	記　号
土工	片　　切	機械掘削（レキ質土）	C1(GF)
	片　　切	機械掘削（軟岩Ⅰ）	C1(SRI)
	人力切崩し	レキ質土	C2(GF)
	人力切崩し	軟岩Ⅰ	C2(SRI)
	法面整形工	切土（機械）レキ質土	I1
	法面整形工	切土（機械）軟岩Ⅰ	I2
	法面整形工	切土（人力施工）レキ質土	I3
	法面整形工	切土（人力施工）軟岩Ⅰ	I4
工面法	簡易吹付法枠	法長	SL
	植生工	切土法面	L1

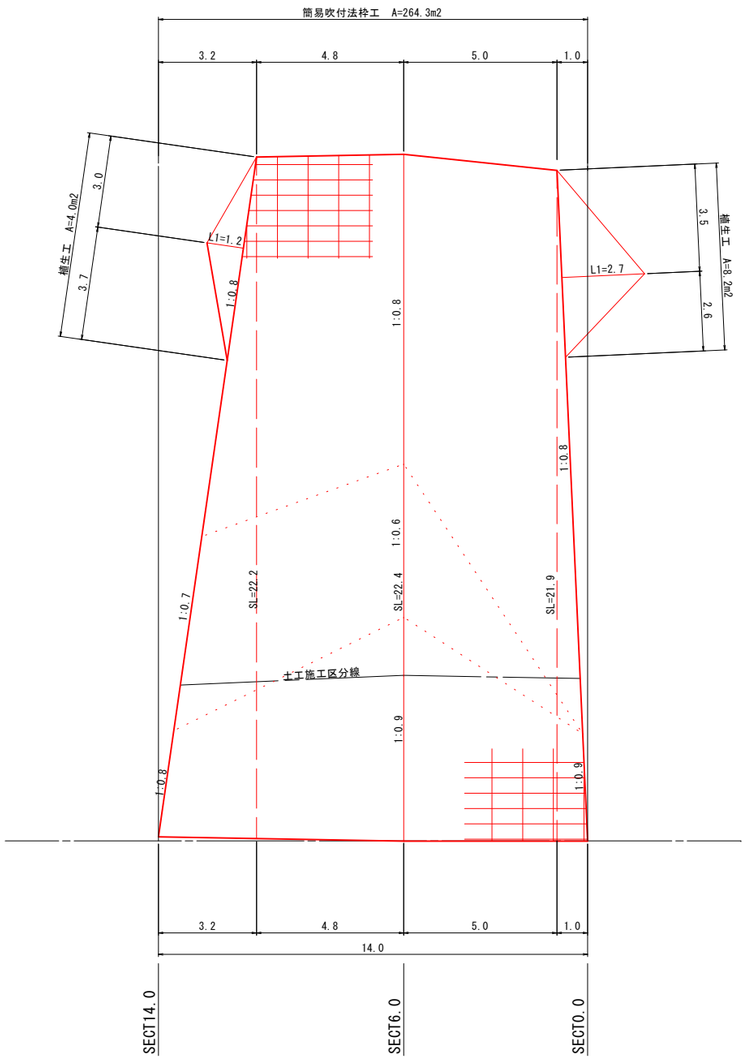


工事番号	T08-03

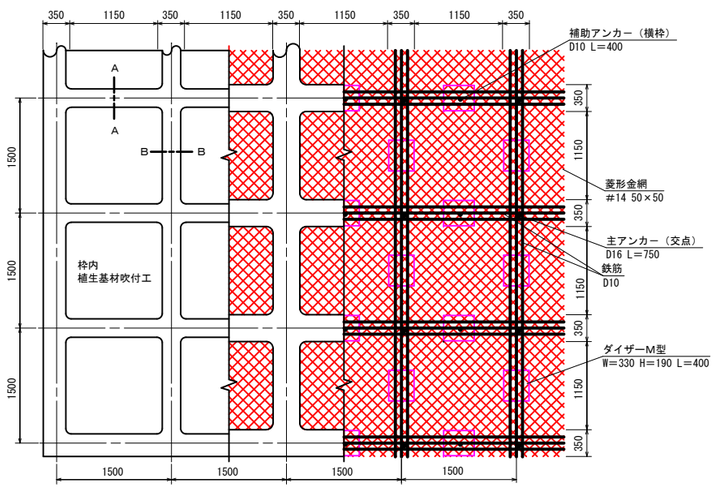
工事名	令和8年度　土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事（8-4）		
図面名	大芝海岸線（大芝北漁港東）　計画図		
作成年月日			
縮尺	図　示	図面番号	2 / 3
会社名			
事業者名	東　広　島　市		

簡易吹付法枠工標準施工参考図
（ソイルクリートエ　ダイザタイプ1500）

展　開　図
S=1/100



標　準　展　開　図
S=1/40



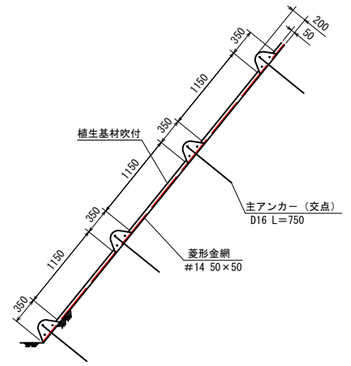
使用材料表

ソイルクリートエ　ダイザタイプ1500
枠内植生基材吹付工 t=5cm

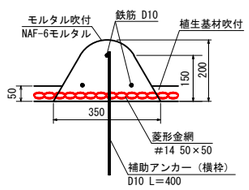
100m2当り

材　料　名		規　格	単位	数　量	割増率
菱形金網		#14 50×50	m2	135	35%
アンカー		φ16 L=400	本	30	
補助アンカー		φ9 L=200	本	150	
鉄筋		D10	kg	283.3	17%
主アンカー（交点）		D16 L=750	本	52	
補助アンカー（横枠）		D10 L=400	本	51	
組立枠		ダイザーM型 W=330 H=190 L=400	個	94	
枠用シート		ダイザタイプ1500用	枚	42.3	
枠吹付			m3	5.87	
NAFモルタル	セメント	普通ポルトランドセメント	kg	3279.0	33%
	NAF-6	共重合パラ型アラミド繊維	kg	7.8	33%
	砂		m3	9.7	33%
枠内植生基材吹付		t=5cm	m2	55.9	

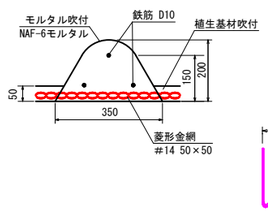
標　準　断　面　図
S=1/40



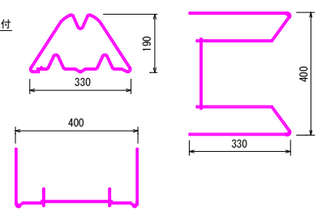
Ａ－Ａ断面
S=1/10



Ｂ－Ｂ断面
S=1/10



ダイザーM型部材模式図
S=1/10



工事番号	T08-03

工事名	令和8年度　土木施設災害復旧事業 安芸津地区災害復旧工事（8-4）		
図面名	大芝海岸線（大芝北漁港東）　計画図		
作成年月日			
縮尺	図　示	図面番号	3 / 3
会社名			
事業者名	東　広　島　市		

参 考 図 書

工 事 名 称 ： 令和８年度 土木施設災害復旧事業

安芸津地区災害復旧工事(8-4)

＜注意事項＞

１　本工事は、数量公開の対象工事です。

２　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

３　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂・砂質土・礫質土	株式会社中岡建設 リサイクルプラント	東広島市安芸津町木谷 1218-7	11.8km
破砕岩（軟岩）	有限会社エス・エス 大南山残土処理場	竹原市下野町字大南山 1372-1	16.4 km

・当該工事により発生する建設副産物は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
伐採木	株式会社中岡建設 リサイクル施設	東広島市安芸津町木谷字湯盛 37-1	11.1km
根株	有限会社クリーンリサイクル	東広島市黒瀬町宗近柳国649	18.9km

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	51 東広島市(安芸津)
単価適用日	00-08.09.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費 T08-03 大芝海岸線（大芝北漁港東）					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 礫質土 機械施工	30	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	30	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
掘削 軟岩 機械施工	2	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 軟岩 片切掘削	2	m3			SPK26040001 00 単第0 -0002　表
掘削 礫質土 人力施工	110	m3			Y1E01010101レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 土砂 現場制約あり	110	m3			SPK26040001 00 単第0 -0003　表
掘削 軟岩 人力施工	50	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 岩塊・玉石 現場制約あり	50	m3			SPK26040001 00 単第0 -0004　表
積込(ルーズ) 礫質土,軟岩	160	m3			Y1E01010107レベル4
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)	160	m3			SPK26040007 00 単第0 -0005　表
法面整形工	1	式			Y1E010107　レベル3
法面整形(切土部) 礫質土，軟岩 機械施工，人力施工	1	式			Y1E01010701レベル4
法面整形 切土部　現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	50	m2			SPK26040024 00 単第0 -0006　表
法面整形 切土部　現場制約無し 軟岩I	20	m2			SPK26040024 00 単第0 -0007　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形 切土部　現場制約有り レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	100	m2			SPK26040024 00 単第0 -0008　表
法面整形 切土部　現場制約有り 軟岩I,軟岩II,中硬岩,硬岩	160	m2			SPK26040024 00 単第0 -0009　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 礫質土	140	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離13.0km以下(10.0km超)	140	m3			SPK26040002 00 単第0 -0010　表
土砂等運搬 軟岩	50	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離19.0km以下(13.0km超)	50	m3			SPK26040002 00 単第0 -0011　表
残土等処分	190	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 建設発生土　礫質土	140	m3			F000000100　00
処分費 建設発生土　軟岩	50	m3			F000000200　00
法面工	1	式			Y1E0104　　レベル2
法枠工	1	式			Y1E010403　レベル3
簡易吹付法枠工 W350,H200-1500×1500	264	m2			Y1E01040303レベル4
ラス張工 [規]250m2以上500m2未満	264	m2			SS000187　　00 単第0 -0012　表
簡易吹付法枠工 H=200 W=350 [規]250m2以上500m2未満	264	m2			V000000200　00 単第0 -0013　表
枠内吹付工（植生基材吹付） 厚5cm	150	m2			Y1E01040303レベル4
植生基材吹付工(枠内吹付) 厚5cm [規]100m2以上250m2未満	150	m2			SS000271　　00 単第0 -0022　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
雑工（植生基材吹付） 厚5cm	10	m2			Y4999　レベル4
植生基材吹付工 厚5cm [規]100m2以上250m2未満	10	m2			SS000271　00 単第0 -0023　表
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
迂回路	1	式			Y1E011501　レベル3
敷鉄板撤去	192	m2			Y1E01150104レベル4
敷鉄板撤去	192	m2			S1050043　00 単第0 -0024　表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間60日	41	枚			S1050029　00 単第0 -0026　表
敷鉄板賃料 22×914×1829,289kg/枚 賃貸期間60日	1	枚			S1050029　00 単第0 -0027　表
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04　レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001　レベル3
仮設材運搬費	1	式			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 15㎞ 製品長 12m以内	1	式			S1000007　00 単第0 -0028　表
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05　レベル2
準備費	1	式			YZZ05001　レベル3
木根等撤去費	1	式			YZZ05001001レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(人力施工:粗)(10本/100m2未満)	50	m2			SPK26040183 00 単第0 -0031 表
除根(伐木除根)	50	m2			SPK26040184 00 単第0 -0032 表
集積積込み(機械施工)(伐木除根) 除根作業有り	50	m2			SPK26040186 00 単第0 -0033 表
木根等処分費	0.9	m3			YZZ05001001レベル4
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業有り DID区間無し 運搬距離11.5km以下(10.0km超)	0.8	m3			SPK26040189 00 単第0 -0034 表
運搬(伐木除根) 機械施工 除根作業有り DID区間無し 運搬距離19.0km以下(16.0km超)	0.1	m3			SPK26040189 00 単第0 -0035 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
処分費 伐採木	0.8	m3			F000000500 00
処分費 根株	0.1	m3			F000000600 00

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.65%　　労務構成比:　61.34%　　材料構成比:　11.01%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,342.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0002　表

軟岩 片切掘削　　1　m3　当り

機械構成比:　27.99%　労務構成比:　64.53%　材料構成比:　7.48%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　4,684.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 バケット容量0.8m3	18.28%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 バケット容量0.8m3		MTPC00174 MTPT00174
大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式 通称1300kg級	8.13%		大型ブレーカ(ベースマシン含まず) 油圧式 通称1,300kg級		MTPC00039 MTPT00039
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	31.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	16.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	13.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0002　表

軟岩 片切掘削　　1　m3　当り

機械構成比: 27.99%　労務構成比: 64.53%　材料構成比: 7.48%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,684.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=3 軟岩 H=1 破砕片除去無し			B=2 片切掘削 I=1 集積押土無し		

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0003　表

土砂 現場制約あり　　1　　m3　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　6,968.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=3　現場制約あり		

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0004　表

岩塊・玉石 現場制約あり　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,720.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
積算単価			積算単価		EP001
A=2　岩塊・玉石			B=3　現場制約あり		

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0005　表

土砂　　小規模(標準)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.65%　労務構成比:　61.34%　材料構成比:　11.01%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,183.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 バケット容量0.28m3	27.65%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) バケット容量0.28m3		MTPC00185 MTPT00185
運転手(特殊)	61.34%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=4　小規模(標準)		

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0006　表

切土部　現場制約無し　　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　　1　m2　当り

機械構成比:　8.80%　労務構成比:　81.51%　材料構成比:　9.69%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　964.64000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	8.80%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=2　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2　現場制約無し E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0007　表

切土部　現場制約無し　　軟岩I　　1　　m2　　当り

機械構成比:　7.90%　　労務構成比:　83.41%　　材料構成比:　8.69%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,257.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	7.90%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	42.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	20.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	20.13%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=4　軟岩I			C=2　現場制約無し E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0008　表

切土部　現場制約有り　　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,808.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	87.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=2　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=1　現場制約有り E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0009　表

切土部　現場制約有り　　軟岩I,軟岩II,中硬岩,硬岩　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　　労務構成比:　100.00%　　材料構成比:　0.00%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　4,231.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	41.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	36.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	14.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2　切土部 D=3　軟岩I,軟岩II,中硬岩,硬岩			C=1　現場制約有り E=1　-(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0010　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離13.0km以下(10.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 25.12%　労務構成比: 63.12%　材料構成比: 11.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,622.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=45 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ B容量0.28m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0011　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　DID区間無し　距離19.0km以下(13.0km超)　1　m3　当り

機械構成比: 25.12%　労務構成比: 63.12%　材料構成比: 11.76%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 4,427.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=52 距離19.0km以下(13.0km超)			B=5 バックホウ B容量0.28m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

ラス張工　　SS000187　　単第0 -0012　表

[規]250m2以上500m2未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ラス張工【材工共】 法面清掃及びラス・アンカーピン設置	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　　[規]250m2以上500m2未満			C=1　　-		

施工単価表

簡易吹付法枠工　　V000000200　　単第0 -0013　表

H=200 W=350　　[規]250m2以上500m2未満　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配筋（鉄筋加工組立）工 SD295 D10	242.12	kg			単第0-0014　表
組立枠設置工 ダイザーM型	94.00	個			単第0-0015　表
交点アンカー打設工	52.00	本			単第0-0016　表
補助アンカー（横枠）工	51.00	本			単第0-0017　表
枠シート工	100.00	m2			単第0-0018　表
枠吹付工	5.87	m3			単第0-0019　表
面積補正		式			200㎡以上300㎡未満
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

配筋（鉄筋加工組立）工　　V000000100　　単第0 -0014　表

SD295 D10　　1000　kg　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.70	人			
法面工	14.81	人			
普通作業員	3.70	人			
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D10 単位質量0.56kg/m	1,170.00	kg			
雑材料	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	1,000	kg			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	kg			

施工単価表

組立枠設置工　　V000000101　　単第0 -0015　表

ダイザーM型　　100　個　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.42	人			
法面工	1.25	人			
ダイザーM型 W330 H190 L400	100.00	個			
雑材料	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	個			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	個			

施工単価表

交点アンカー打設工　　V000000102　　単第0 -0016　表

100　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			
法面工	4.00	人			
普通作業員	2.00	人			
アンカー D16 L=750 (先端加工)	100.00	本			
雑材料	4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

補助アンカー（横枠）工　　V000000103　　単第0 -0017　表

100　本　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			
法面工	4.00	人			
普通作業員	2.00	人			
補助アンカー D10 L=400（先端加工）	100.00	本			
雑材料	4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	本			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	本			

施工単価表

枠シート工　　V000000104　　単第0 -0018　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.11	人			
法面工	3.33	人			
枠用シート ダイザ1500用	42.30	枚			
雑材料	5	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

枠吹付工　　V000000105　　単第0 -0019　表

10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.85	人			
法面工	5.56	人			
特殊作業員	3.70	人			
普通作業員	3.70	人			
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	5.586	t			
コンクリート用砂 細目(洗い)	16.49	m3			
NAF-6	13.30	kg			
機-15_モルタルコンクリート吹付機運転 [湿式・モーター駆動]_吐出量0.8～1.2m3/h	1.85	日			単第0-0020　表
機-29_ホイールローダ運転 普通_バケット容量0.34m3	1.85	日			単第0-0021　表
雑材料	19	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			

施工単価表

機-15_モルタルコンクリート吹付機運転　　V9000069　　単第0 -0020　表
[湿式・モーター駆動]_吐出量0.8～1.2m3/h　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタルコンクリート吹付機(法面用) 湿式 吐出量0.8～1.2m3/h所要空気量10～19m3/min	4.45	時間			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			

施工単価表

機-29_ホイールローダ運転　　S9000067　　単第0 -0021　表

普通_バケット容量0.34m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	0.80	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.00	L			
<賃>ホイールローダ 普通,山積0.34m3 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.58	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　普通_バケット容量0.34m3 C=15　燃料消費量(L/日)			B=0.8　運転労務数量(人/日) D=1.58　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

植生基材吹付工(枠内吹付)　　SS000271　　単第0 -0022　表

厚5cm　　[規]100m2以上250m2未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
植生工(機械播種施工)【材工共】 植生基材吹付工 厚5cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　厚5cm D=1　-			B=4　[規]100m2以上250m2未満 E=2　枠内吹付の場合		

施工単価表

植生基材吹付工　　SS000271　　単第0 -0023　表

厚5cm　　[規]100m2以上250m2未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
植生工(機械幡種施工)【材工共】 植生基材吹付工 厚5cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　厚5cm D=1　-			B=4　[規]100m2以上250m2未満 E=1　-		

施工単価表

敷鉄板撤去　　S1050043　　単第0 -0024　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			
とび工	0.143	人			
普通作業員	0.143	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.143	日			単第0-0025　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0025　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	119.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.06	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=19　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=119　軽油消費量(L/日) D=1.06　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

敷鉄板賃料　　S1050029　　単第0 -0026　表

22×1524×3048,802kg/枚　　賃貸期間60日　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 90日以内	60.000	枚・日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=3　22×1524×3048,802kg/枚 C=60　敷鉄板賃貸期間（日）			B=1　賃料 D=1　-		

施工単価表

敷鉄板賃料　　S1050029　　単第0 -0027　表

22×914×1829,289kg/枚　　賃貸期間60日　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼板 22×914×1829,289kg/枚 90日以内	60.000	枚・日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=1　22×914×1829,289kg/枚 C=60　敷鉄板賃貸期間（日）			B=1　賃料 D=1　-		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0028 表

運搬距離 15km　製品長 12m以内　1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 15km 製品長 12m以内 運搬質量 33t	1.000	式			単第0-0029 表
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			単第0-0030 表
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	式			
A=15 運搬距離(km) C=1 - E=33 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=3 現場積込み,基地取卸し			J=1 -		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0029　表

運搬距離 15㎞　　製品長 12m以内 運搬質量 33t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			※直接経費の対象外
t当り基本運賃	33.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=15　運搬距離(km) D=33　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0030　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（現場）	33.000	t			
仮設材取卸し費（基地）	33.000	t			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=3　現場積込み,基地取卸し			D=33　運搬質量(t)		

施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)　　SPK26040183　　単第0 -0031　表

伐木(人力施工:粗)(10本/100m2未満)　　1　m2　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　71.08500

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	50.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	19.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	16.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　伐木(人力施工:粗)(10本/100m2未満)			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

除根(伐木除根)　　SPK26040184　　単第0 -0032　表

1　m2　当り

機械構成比: 28.30%　労務構成比: 61.14%　材料構成比: 10.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 43.14500

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 バケット容量0.5m3	24.46%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 バケット容量0.5m3		MTPC00158 MTPT00158
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1700～2000mm爪幅400～750mm	3.84%		バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1,700～2,000mm 爪幅400～750mm		MTPC00085 MTPT00085
運転手(特殊)	33.68%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	18.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

集積積込み(機械施工)(伐木除根)　SPK26040186　単第0 -0033　表

除根作業有り　1　m2　当り

機械構成比:　28.08%　労務構成比:　61.44%　材料構成比:　10.48%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　99.40600

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 バケット容量0.5m3	24.27%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 バケット容量0.5m3		MTPC00158 MTPT00158
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1700～2000mm爪幅400～750mm	3.81%		バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 開口幅1,700～2,000mm 爪幅400～750mm		MTPC00085 MTPT00085
運転手(特殊)	33.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	15.64%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	10.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　除根作業有り			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

運搬(伐木除根)　　SPK26040189　　単第0 -0034　表

機械施工 除根作業有り DID区間無し　　運搬距離11.5km以下(10.0km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比: 56.67%　労務構成比: 31.47%　材料構成比: 11.86%　市場単価構成比: 0.00%　　標準単価： 1,920.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	56.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級[深あおり (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
運転手(一般)	31.47%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.86%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=31 運搬距離11.5km以下(10.0km超)		

施工単価表

運搬(伐木除根)　　SPK26040189　　単第0 -0035　表

機械施工 除根作業有り DID区間無し　　運搬距離19.0km以下(16.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比: 56.67%　労務構成比: 31.47%　材料構成比: 11.86%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,469.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 深あおり・土砂禁止 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	56.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級[深あおり (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00162T1 MTPT00162T1
運転手(一般)	31.47%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.86%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 機械施工 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 除根作業有り D=46 運搬距離19.0km以下(16.0km超)		

令和8年災害　東広島市公共災害

バックホウ0.28m3

ダンプトラック4t積

工　事　費　内　訳

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数　量	摘　要
本工事費					式	1		
	道路土工				式	1		
		掘削工	片切掘削	レキ質土	m3	30	27.1	
			片切掘削	軟岩Ⅰ	m3	2	1.8	
			人力切崩し	レキ質土	m3	110	111.5	
			人力切崩し	軟岩Ⅰ	m3	50	50.3	
			積込み	小規模	m3	160	163.6	1.8m3+111.5m3+50.3m3
		法面整形工	法面整形(切土部)	機械、レキ質土	m2	50	52.7	
			法面整形(切土部)	機械、軟岩Ⅰ	m2	20	23.8	
			法面整形(切土部)	人力、レキ質土	m2	100	95.2	
			法面整形(切土部)	人力、軟岩Ⅰ	m2	160	156.7	
		残土処理工	残土処理	レキ質土	m3	140	138.6	
			残土処理	軟岩Ⅰ	m3	50	52.1	
	法面工				式	1		
		法枠工	簡易吹付法枠工	1500×1500	m2	264	264.3	H≦40m

費　目	工　種	種　別	細　別	規　格	単位	計上数量	数　量	摘　要
			植生基材吹付	t=5cm　枠内	m2	150	147.7	
	雑工				式	1		
		植生工	植生基材吹付	t=5cm	m2	10	12.2	起終点取付工部分
	仮設工				式	1		
		迂回路	敷鉄板	撤去	m2	192	192.2	
				敷鉄板賃料	枚	41	41.0	1.524m×3.048m
				〃	枚	1	1.0	0.914m×1.829m
				仮設材運搬	t	33	33.2	0.802t/枚×41枚 0.289t/枚×1枚
	準備工				式	1		
		伐木･除根工	伐木･除根	伐採面積	m2	50	46.9	
				集積･積込	m2	50	46.9	
				伐採木運搬･処分	m3	0.8	0.8	
				根株運搬･処分	m3	0.1	0.1	

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

土量配分表

掘　削　土		
掘　削	レキ質土	27.1　m3
掘　削	軟岩Ⅰ	1.8　m3
人力切崩し	レキ質土	111.5　m3
人力切崩し	軟岩Ⅰ	50.3　m3
		190.7　m3

0.0　／ 0.9　＝
不足土→　0.0　m3

土量変化率　0.9

盛　土		
路床B1-1	W＜2.5m	m3
路床B1-2	2.5≦W＜4.0	m3
路床B2-1	W＜2.5m	m3
路床B2-2	2.5≦W＜4.0	m3
路肩B3		m3
合計		m3

道路

0.0　／ 0.9　＝
0.0　m3

土量変化率　0.9

埋　戻　土		
埋　戻		m3
計	砂質土	m3

残　土　処　分		
計	レキ質土	138.6　m3
	軟岩Ⅰ	52.1　m3

138.6　m3

52.1　m3

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

道 路 土 工　　計 算 書

測 点	距 離	機械掘削 C1(GF)			機械掘削 C1(SRI)			人力切崩しC2(GF)			人力切崩しC2(SRI)			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
								0.0			0.0			
SECT, 0.0	1.8	0.9						3.0	1.50	2.7	3.7	1.85	3.3	
	2.0	2.1	1.50	3.0	0.0			11.0	7.00	14.0	3.7	3.70	7.4	
SECT, 6.0	4.0	2.6	2.35	9.4	0.4	0.20	0.8	4.4	7.70	30.8	2.6	3.15	12.6	
	5.0	1.6	2.10	10.5	0.0	0.20	1.0	11.8	8.10	40.5	3.5	3.05	15.3	
SECT, 14.0	3.0	1.2	1.40	4.2				3.2	7.50	22.5	3.5	3.50	10.5	
	0.7							0.0	1.60	1.1	0.0	1.75	1.2	
準備工参照 除根数量控除				0.0						(0.1)				
合 計	16.5			m3 27.1			m3 1.8			m3 111.5			m3 50.3	

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

道 路 土 工　　計 算 書

測 点	距 離	切土法面整形(機械) l1			切土法面整形(機械) l2			切土法面整形(人力) l3			切土法面整形(人力) l4			摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
								0.0			0.0			
SECT, 0.0	1.8							1.1	0.55	1.0	7.1	3.55	6.4	
SECT, 0.0		5.5			0.0			9.5			7.1			
SECT, 6.0	6.0	2.2	3.85	23.1	3.4	1.70	10.2	4.1	6.80	40.8	12.9	10.00	60.0	
SECT, 14.0	8.0	5.2	3.70	29.6	0.0	1.70	13.6	8.5	6.30	50.4	8.9	10.90	87.2	
	0.7							0.0	4.25	3.0	0.0	4.45	3.1	
合 計	16.5			m2 52.7			m2 23.8			m2 95.2			m2 156.7	

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

法 面 工　　計 算 書

測 点	距 離	簡易吹付法枠工 SL			枠内吹付工(植生基材)									摘 要
		断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	断 面	平 均	数 量	
SECT, 0.0		0.0												
	1.0	21.9	10.95	11.0										
SECT, 6.0	5.0	22.4	22.15	110.8										
	4.8	22.2	22.30	107.0										
SECT, 14.0	3.2	0.0	11.10	35.5										
					55.9m2/100m2×264.3m2									
合 計	14.0			m2 264.3			m2 147.7							

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

雑　工　　計 算 書

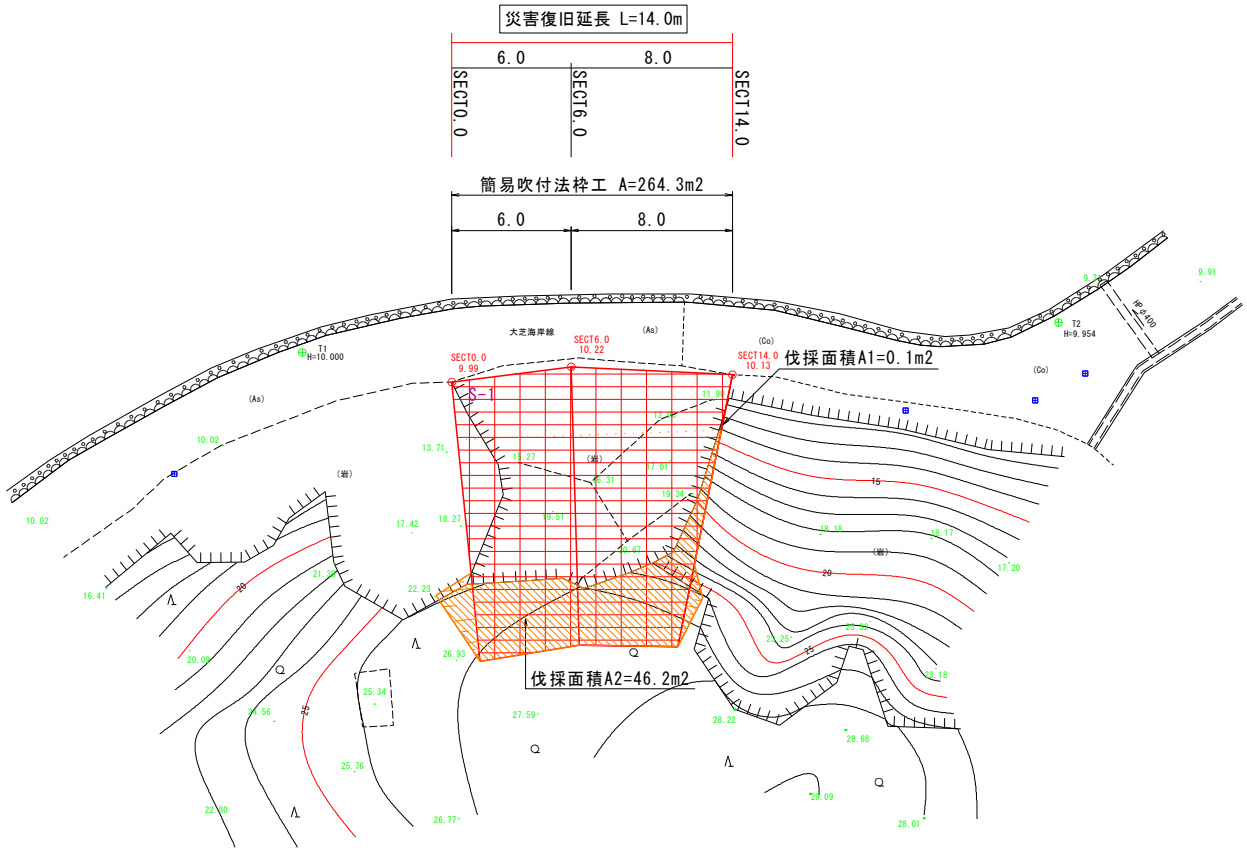
測　点	距 離	植生工 L1 断 面	植生工 L1 平 均	植生工 L1 数 量	植生工 L1 断 面	植生工 L1 平 均	植生工 L1 数 量							摘　要
取付工部														
起点側取付工 SECT, 0.0		0.0												
	2.6	2.7	1.35	3.5										
	3.5	0.0	1.35	4.7										
終点側取付工					0.0									
	3.0				1.2	0.60	1.8							
	3.7				0.0	0.60	2.2							
SECT, 14.0														
合　計	12.8			m2 8.2			m2 4.0							

T08-03_大芝海岸線(大芝北漁協東)

迂回路(敷鉄板)

種　別	細　別	計　算　式	数　量	摘　要
迂回路(敷鉄板)	1.5×3.0m	1.524 × 3.048 × 41 枚	190.5 m2	
	0.9×1.8m	0.914 × 1.829 × 1 枚	1.7 m2	
合　計			192.2 m2	

準備工(伐採・除根)　計　算　書



伐採面積

片切部	A1＝	0.1	＋	＋	＝	0.1	m2
人力切崩し部	A2＝	46.2	＋	＋	＝	46.2	m2
				ΣA	＝	46.3	m2

次項に続く

伐採除根平面図より　斜面勾配の平均角度(1:6.2=9° と想定)

ΣA＝ 46.3 m2　斜率＝ 1.013

1.伐採面積

A ＝ 46.3 × 1.013 ＝ 46.9 m2

2.樹木対象面積

大径の樹木の対象面積(50%) 46.9 × 0.5 ＝ 23.5 m2

小径の樹木の対象面積(50%) 46.9 × 0.5 ＝ 23.5 m2

3.樹木重量の算出

樹木の単位重量は0.8t/m3

大径:1本/25m2、小径:1本/4m2と想定

植生規模:　大径の樹木　長さ10m×φ0.3mを想定

V1 ＝ 10.0 × π × 0.15^2 ＝ 0.707 m3 ／ 本

W1 ＝ 0.707 × 0.80 ＝ 0.566 t ／ 本

小径の樹木　長さ5m×φ0.08mを想定

V2 ＝ 5.0 × π × 0.04^2 ＝ 0.025 m3 ／ 本

W2 ＝ 0.025 × 0.80 ＝ 0.020 t ／ 本

V1 = 23.5 ÷ 25 × 0.707 ＝ 0.7 m3

V2 = 23.5 ÷ 4 × 0.025 ＝ 0.1 m3

＝ 0.8 m3

W1 = 23.5 ÷ 25 × 0.566 ＝ 0.5 t

W2 = 23.5 ÷ 4 × 0.020 ＝ 0.1 t

＝ 0.6 t

次項に続く

4.除根数量の算出

大径:1本/25m2、小径:1本/4m2と想定

大径の樹木の対象面積(50%)

小径の樹木の対象面積(50%)

植生規模:　大径の樹木　除根深さ1m(長さの1割)×φ0.3mを想定

V1 ＝ 1.0 × π × 0.15^2 ＝ 0.071 m3 ／ 本

小径の樹木　除根深さ0.5m(長さの1割)×φ0.08mを想定

V2 ＝ 0.5 × π × 0.04^2 ＝ 0.003 m3 ／ 本

片切部		対象面積		斜率						
V1=	0.1	×	0.5	×	1.013	÷	25	×	0.071	＝ 0.00 m3
V2=	0.1	×	0.5	×	1.013	÷	4	×	0.003	＝ 0.00 m3
										＝ 0.00 m3

人力切崩し部		対象面積		斜率						
V1=	46.2	×	0.5	×	1.013	÷	25	×	0.071	＝ 0.07 m3
V2=	46.2	×	0.5	×	1.013	÷	4	×	0.003	＝ 0.02 m3
										＝ 0.09 m3